

2019 7. vol.55

社会福祉法人

愛媛いのちの電話



1985年電話相談を開始し34年目を迎えました



セツカ

写真提供
撮影場所
松前町
大溝
石川 清治氏

ひとりぼっちで悩まないで……

CONTENTS

- ・宇和島で相談員養成講座開講
- ・ある日の電話から
- ・「青年期に必要なもの」について 川本こずえ
- ・平成30年（2018）年度事業報告

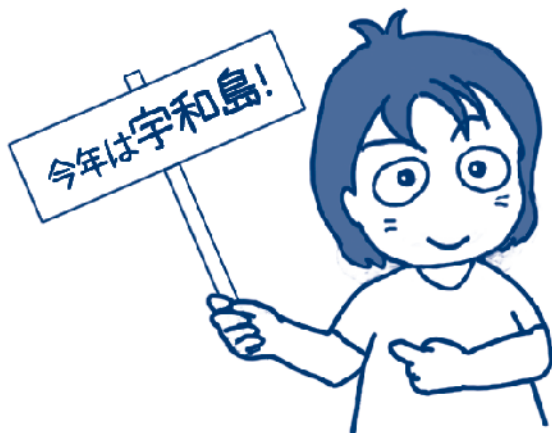
相談電話 **089-958-1111**

毎月1日～10日：昼12時～翌朝6時
11日以降：昼12時～午後10時

インターネット相談

<http://www.e-inochi.jp/>

「インターネット相談」はこちらへをクリック



今年の養成講座は宇和島で開催します。
今まで遠くてあきらめていた方も
ぜひこの機会に受講されてみませんか。

あなたの力を
待っています。



講師紹介



武井 義定

社会福祉法人
愛媛いのちの電話
理事長
勝山幼稚園園長
臨床心理士

ボランティア精神と相談活動
人はなぜ自殺するのか
宿泊研修〈感受性の訓練〉



青野 篤子

福山大学名誉教授

現代のライフサイクル論
性・DV・ハラスメントを巡る問題



石川 良子

松山大学人文学部
准教授

人の話を聴くこと・分かること
「ひきこもり」のフィールドワーク
から考える



大久保雅代

愛媛県スクール
カウンセラー
臨床心理士

自殺予防の現状といのちの
電話の意義
傾聴訓練Ⅱ〈傾聴について〉
電話相談演習Ⅲ〈発達障がい〉



越智 眞理

眞理こころのクリニック院長
精神科医

こころを病む人Ⅰ
〈うつ・統合失調症〉
こころを病む人Ⅱ
〈神経症・境界性人格障害〉



梶原 万裕

精神科心療内科
臨床心理士

傾聴訓練Ⅲ
〈受容と共感について〉
電話相談演習Ⅳ
〈頻回通話者〉



川本こずえ

精神科心療内科
臨床心理士

電話相談演習Ⅱ
〈危機介入〉



平林 茂代

えひめ親子
人間関係研究所所長
臨床発達心理士

一日研修〈心のふれあい体験〉
発達障がいについて



横田 和子

愛媛大学
非常勤講師
臨床心理士

傾聴訓練Ⅰ〈体験学習とは〉
電話相談演習Ⅰ
〈こころを病む人への対応〉

成講座を開講します

新人相談員の声

いのちの電話に関わらせていただいた理由は、出産時緊急手術により助けられたことによる。残りの人生はできれば自分の納得できるものにと考え応募した。講座を受講させていただき大変勉強になった。宝とも呼べる同期の方々、尊敬できる先輩の方々にこの数年で出会えすごく得した気分である。電話対応にも教えていただきながら徐々に慣れワーカーさん皆が感じるであろう喜びのようなものも少しずつ感じられるようになった。すべてに感謝している。出来れば息長く続けていきたい。(K.M)

自分自身病気をしたことをきっかけに、「生きていく」という意味を生まれてはじめて真剣に考えたのが受講のきっかけでした。電話を受けだして、毎回本当にとまどいながら、引きずることもありながらの当番に入っています。誰にも言えない悩み苦しみをもらっていらっしゃる方、心病んでいる方が多いことにも驚きます。益々そういう方に寄り添い、自分のレベルアップに努力したいと思うようになりました。(K.I)

誰にも話せず孤独で苦しみ自ら命を絶つニュースを見る度に、顔の見えない他人との電話だからこそ話せると思い受講を決めました。研修中『心が沈んでいる人を引き上げるのではなく、降りて行って寄り添う』と学び感動しました。日常生活でも心がけると人に優しくなれる気がします。自分の成長にも繋がる活動だと感謝しています。(F.Y)

辛い日々を過ごしていた時、話を黙って聴いてもらった事で、気持ちが楽になった経験が何度かあります。今度は自分が聴く側になりたいと思い受講しました。しかし今、「聴く」ことの難しさを痛感しています。その一方で、回数を重ねるにつれ、自分自身と向き合う機会も増え、新しい自分に出会っているような気がしています。(N.K)

家族のことでどうにもならなかったある日「いのちの電話」の公募を知りました。そうして1年が経ち、今はただただ慣れない電話対応で冷や汗たらたらの新米です。いろいろな方からの相談を受けるなか、いつの間にか一つひとつの言葉を大事にしそれに寄り添う自分がそこにいました。(H.M)

第39期 募集概要（愛媛県地域自殺対策強化事業）

期 間	2019年10月～2020年7月（全20回） 月2回程度 土曜日13：30～16：30 1日研修と宿泊研修（1泊2日）を含む
参加資格	22才～68才の方
受講料	30,000円 別途 参考書代1,500円程度 宿泊研修15,000円 （原則としてお納めいただいた受講料はお返しできません）
会 場	パフィオうわじま 1階 生涯学習センター（宇和島市鶴島町8-3）
募集人数	30名
申込締切	2019年9月30日（必着）

問い合わせ

社会福祉法人愛媛いのちの電話事務局
電話 ▶ 089-958-2000（月～金10：00～16：00）
mail ▶ ehime-1111@inochi.jp
HP ▶ <http://www.e-inochi.jp/>



いのちの電話の 相談員になるには



ある日の電話から

嫌なことがあり気分が落ち込んでいるという若者からの相談がありました。

「僕なりに今まで真面目にやってきましたつもりです。それなのに何故こんな事になってしまったのか分からない」と。

「話せる範囲でいいので聞かせてください」と声をかけると、就職してから半年で会社を辞めてしまった経緯を少しずつ話し始めました。

仕事に就いてまもなくのある日の朝、目覚めると体が鉛のように重くて起き上がれず苦しかったこと、2週間薬を飲んだけれど限界がきて会社に行けなくなったこと、付き合い合っていた人に自分の苦しさを理解してもらえず結局別れてしまったこと等々。

あれから何年も経った今でも彼女のことを忘れられないし、次の仕事を探す気持ちにもなれない。会社の上司からの叱責がトラウマになっている事が原因の一つ。

「先に進みたいのにどうしても頑張る気力が湧いてこないんです」

何と声をかければ彼が前向きになれるだろうと言葉を探してみるけれどみつかりませんでした。

「自分がミスをしたのだから怒られても仕方ないけれど、

これから先も会社で働くことは考えられない、どうしたらいいのだろう」と、ネガティブなことばかり考えてしまうというこの若者が新たな一歩を踏み出すまでにあとどの位時間がかかるのでしょうか。誰かに自分の感情を受け止めてもらうことで、彼の中で変化があらわれるようにと願いつつ受話器を置きました。

※内容は実際の相談を基に構成し直したものです。



提供 春藤 伸一氏



「青年期に必要なもの」について

社会福祉法人愛媛いのちの電話
訓練委員 川本 こそえ

エリクソンは、とても有名な心理社会的発達理論の中で、青年期を以下のように説明しています。「青年期は子どもから大人へ変わる非常に重要な期間です。重要な期間であると同時に、青年期は不安定で様々な課題を抱える時期でもあります」と。そして彼は、青年期をモラトリアム期間にとらえ、猶予期間、つまり大人が負うべき義務や責任を一定期間猶予され、試行錯誤できる時期だということを言っています。この時期、人は様々なことを成し遂げ、アイデンティティの確立を達成するとしています。アイデンティティとは、人生における自分の「核」となる自我のことだそうです。

さて、この時期の自分自身を思い返してみます。この時期私は、なりたかった職業に就くために数年にわたり努力を重ねていましたが、どうもそれが難しいことが分かり「ああ、今後どうしていこうか」と思い悩む日々を過ごしていました。アイデンティティ拡散です。

そんな中、私は二人の臨床家と出会いました。詳しいことは書面の関係でお伝えすることは出来ませんが、私の進路に大きな影響を受けた出会いであったと今では思っています。

1人は、以前から関心のあった理論を勉強するために、一步踏み出すきっかけをくださった方です。臨床の場で起こることを理解するうえでとても大切な指針となっています。もう1人は、この「いのちの電話」の活動に私を誘ってくださった方です。人は言葉にすることで気づき、変わっていくものだと信じているので、この「いのちの電話」はとても大切な活動だと思っています。また、尊敬できるお二人でしたが、日々葛藤を抱えながら前に進まれている姿は、同年代の同じ女性として共感できる部分があり、思い悩む私の良きモデルとなりました。

最近聴講させていただいた講義の中で、「アイデンティティは変わりうるもの」と教えていただきました。きっと今後も生きていく中でいろんな人と出会い、様々な出来事を体験する中で、私も自身のアイデンティティを練り直していく機会があると思います。かつては苦い経験であった進路変更も、今では私の一部となり、その時出会った人たちや支えてくださった人たちへの感謝につながっています。思い悩んでいた時期に、先輩の存在はありがたいものであったなとお二人に感謝しています。これからもずっと大切にしていきたいご縁です。

『イオン 幸せの黄色いレシート キャンペーン』

毎月11日にイオン松山店で実施されている『幸せの黄色いレシートキャンペーン』は、イオンさんと店に買い物に来られたお客さまのご好意で、集めたレシートの合計金額の1パーセントがボランティア団体に寄贈されるという、活動資金難のボランティア団体にとってはとてもありがたい催しです。現在イオン松山店では約30団体が登録をして、毎月11日にはイオン松山店に立ってお客さまにご協力をお願いしています。

社会福祉法人 愛媛いのちの電話 事業報告

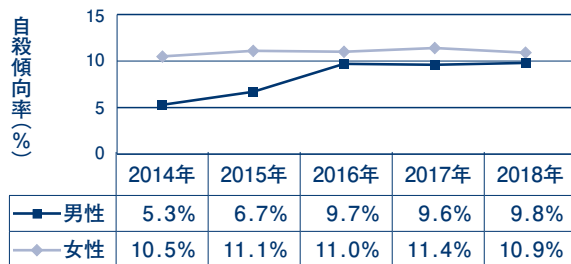
電話相談受信状況 (2018年1月1日～2018年12月31日)

- 1、受信時間 1日～10日 12時～翌朝6時
11日～月末 12時～22時
- 2、相談員 80名（実働74名）
- 3、受信件数 12,498件
そのうち自殺傾向のある相談 1,281件（10.2%）

▼ 年間相談件数

	相談件数	月平均相談数	1日平均相談数
2018年	12,498	1,041.5	34.2
2017年	12,682	1,056.8	34.7
2016年	13,656	1,138.0	37.4
2015年	13,196	1,099.7	36.2
2014年	12,890	1,074.2	35.3

▼ 男女別自殺傾向率

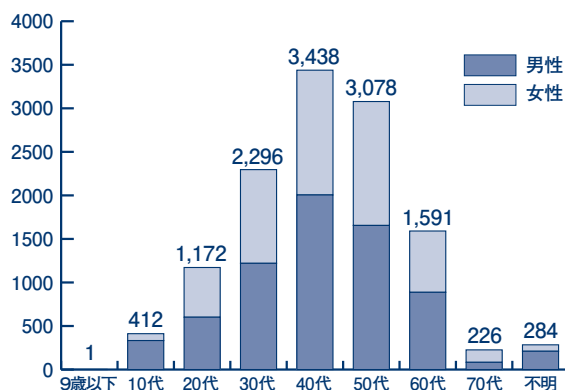


自殺傾向率=自殺を訴えた相談件数／全相談件数

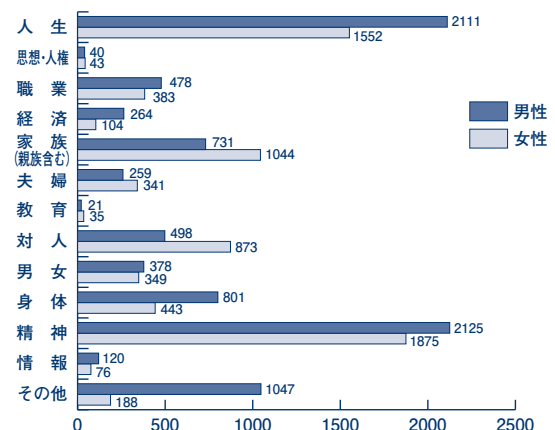
▼ 男女別相談件数



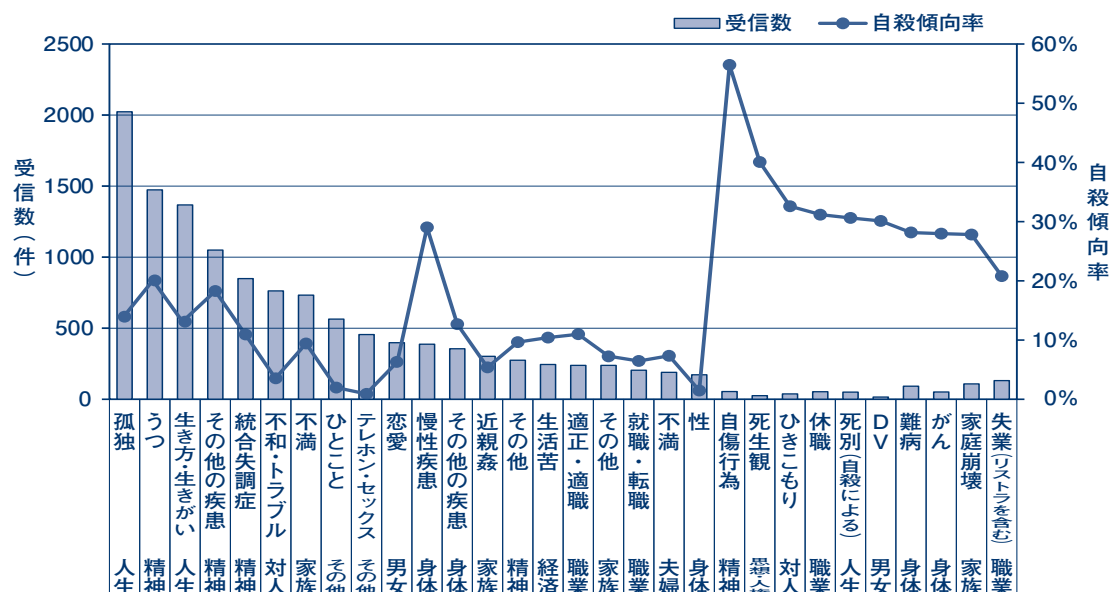
▼ 年代別相談件数



▼ 問題別相談件数



▼ 受信内容と自殺傾向率（複数分類による）



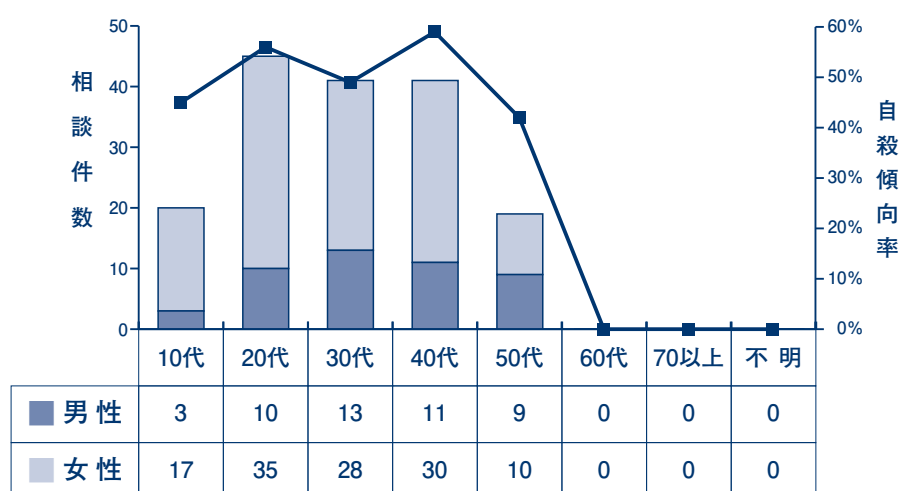
インターネット相談実施状況 (2018年1月～2018年12月)

- 1、実施日 64日
 2、担当相談員 17名
 3、受信件数 166件
 そのうち自殺傾向のある相談 86件 (51.8%)

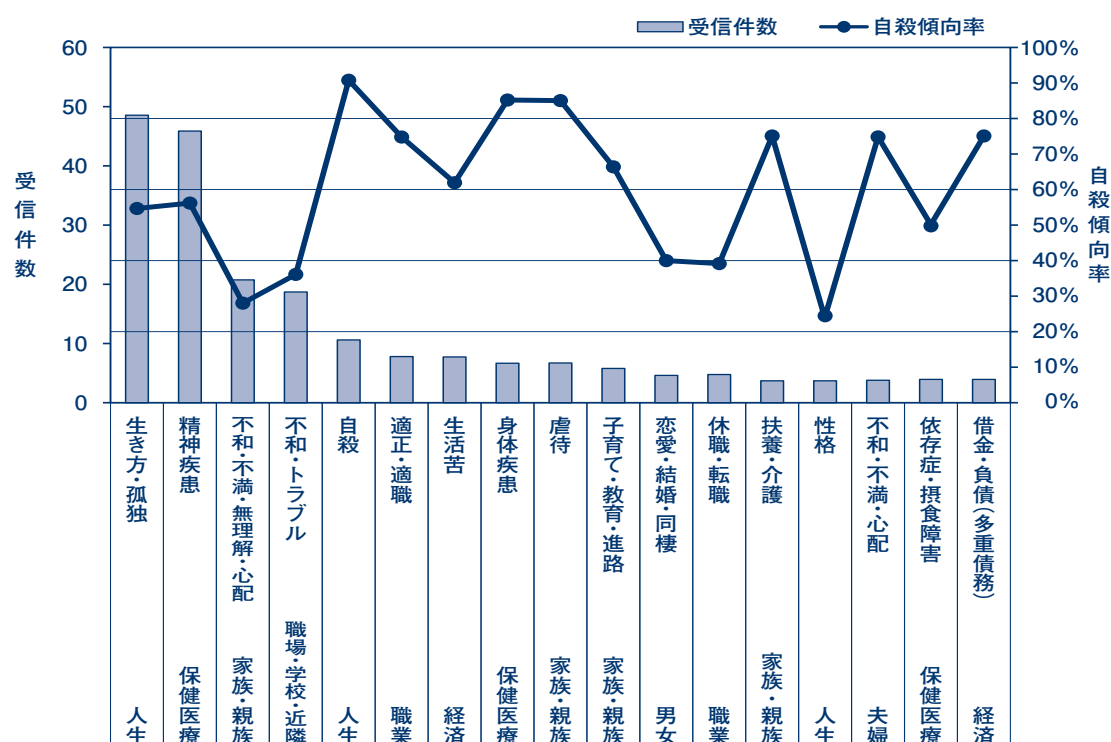
▼ 男女別相談件数

男性 46件
 女性 120件

▼ 年代別相談件数



▼ 問題別相談件数



事業報告

平成30（2018）年度 事業報告（2018年4月1日～2019年3月31日）

1、理事会・評議員会 および 監査

- ・ 5月7日 監事監査
- ・ 5月18日 理事会
平成29（2017）年度事業報告、決算報告
- ・ 6月13日 定時評議員会
平成29（2017）年度事業報告、決算報告
- ・ 10月29日 愛媛県指導監査
- ・ 12月17日 理事会
平成30（2018）年度上半期事業報告、会計報告、
- ・ 3月18日 理事会
平成30（2018）年度第二次補正予算
平成31（2019）年度事業計画および予算について

川本こずえ、武井義定、平林茂代
横田和子

- ② 全体研修会 6月3日 参加40名
「相談電話の終わり方（切り方）について
考えてみよう」
- ③ ネット相談勉強会 7月28日、9月29日、11月24日、
1月19日、3月16日

2、電話相談事業

- (1) 受信時間
相談時間10時間（毎日12時～22時）
月初め10日間は（12時～翌朝6時）
電話2台 受付番号 089-958-1111
- (2) 相談員（2017年4月1日現在）
登録相談員 80名（男18名、女62名）
実働相談員 74名（男18名、女56名）
実 習 8名（男1名、女7名）
平成29（2017）年度2,000時間受信達成者 1名
1,000時間受信達成者 2名
- (3) 受信件数（2018年1月から12月）
相談件数 12,498件（1日平均34.2件）
そのうち自殺傾向のある電話：1,281件 10.2%
※参考（2017年1月から12月）
相談件数：12,682件（1日平均34.7件）
そのうち自殺傾向のある電話：1,321件 10.4%
- (4) 新居浜分室（2018年1月から12月）
毎月4～2回の実施 1,100件（1日平均39.7件）
- (5) インターネット相談（2018年1月～12月）
相談員数 17名 返信数 166件
自殺傾向のある相談86件（51.8%）

3、電話相談員の養成と研修

- (1) 電話相談員養成講座
第37期 2017年10月開講 相談員認定8名
第38期 2018年10月開講 受講中7名
- (2) 現相談員の継続研修（月1回）
 - ① 毎月1回のグループ研修 継続グループ数7
訓練委員 7名 青野篤子、大久保雅代、梶原万裕、

4、委員会活動

- ・ 研修企画委員会 各研修会、養成講座の企画と検討
相談員の認定
- ・ 相談委員会 相談室内の問題点等を検討、
相談員の親睦 全体会の企画
相談員全体会：11月24日 参加44名
- ・ 広報委員会 外報誌「愛媛いのちの電話」53号（事業報告を含む）、54号を発行
- ・ 財務委員会 イオンデー：毎月11日、黄色いレシートキャンペーンに参加 収益85,800円
（イオンS松山店+マックスバリュ今治阿方店）
外報誌を後援会会員に郵送
- ・ 事業委員会 相談室内のフリーマーケット
売上：51,384円
- ・ 統計委員会 通常の相談電話とフリーダイヤルの統計処理
連盟への報告
- ・ 運営会議 各会議、委員会、事務局の連絡、報告
事業の計画・実施について討議
- ・ 事務局 内報誌「なかま」の発行 毎月1回
助成金の申請、報告等
 - ① 愛媛県精神保健福祉協会
「愛媛県精神保健福祉思想普及事業費補助金」
 - ② MS&ADゆにぞんスマイルクラブ
 - ③ 愛媛県「三浦保」愛基金 愛媛いのちの電話講演会の開催
交付額 300,000円
講演会「感じる 思う 考える 行動する」
ゲストと理事長の対談
○9月15日 今治市中央公民館
岡田武史氏（FC今治オーナー）
参加73名
○9月22日 道の駅津島やすらぎの里
渡部三郎氏（精神科医） 参加55名



- ④ パステル工房のクッキー販売
売上：4,850円
その他 事務全般を担当

5、平成30年度愛媛県地域自殺対策強化事業

「電話相談事業」電話相談分室の拡充
交付額 500,000円
南予分室：工事完了 3月11日試行：3月13日
「人材育成事業」相談員養成および現相談員の育成研修
交付額 500,000円

6、全国のセンター、連盟との連携

- (1) 日本いのちの電話連盟による事業
【厚生労働省補助事業 フリーダイヤル自殺予防いのちの電話】
- ① フリーダイヤルによる電話相談
毎月10日午前8時から11日午前8時まで
受信件数740件（1日平均61.7件）
そのうち自殺傾向のある電話：190件 25.7%
- ② 公開講演会 平成30年9月1日(土) 13：30～15：30
愛媛県男女共同参画センター
演題：「人は人を浴びて人になる
～人生に影響を与える人の力とは～」
講師：夏苺郁子氏（児童精神科医）参加 約90名
- ③ インターネット相談
毎月2回の実施 相談員数 17名 返信数 166件
自殺傾向のある相談 86件（51.8%）
チャット相談トライアル（8月末&3月末）
参加相談員 3名
運営委員会 4月21日、7月15日、3月17日
実施センター会議 9月3日 相談員2名参加
育成研修1 相談事例検討会 12月8日
講師：野口理英子先生
- 2 講演研修会 2月16日
講師：NPO法人OVA代表 伊藤次郎氏
「なぜ若者はSNSで『死にたい』と
つぶやくか」

- ④ ふくしま寄り添いフリーダイヤル
11月11日 相談員2名担当
- ⑤ 一般電話のモニタリング事業に参加 11月～1月
- (2) 一般社団法人日本いのちの電話連盟の会場
- ① 日本いのちの電話連盟定期総会 5月25日
- ② 全国理事長事務局長会議 5月25日
- ③ 全国事務局長研修会 5月26日
- ④ 第5回中国・四国いのちの電話事務局会議
6月30日、7月1日
- ⑤ 自殺予防シンポジウム奈良大会 参加2名
9月24日

- ⑥ ふくしま寄り添いフリーダイヤル事前研修会
10月7日 参加20名
- ⑦ 第35回いのちの電話相談員全国研修会にいがた大会
10名参加 10月18日～20日
- ⑧ 研修担当者中四国ブロック研修会（松山）2月16日
「なぜ若者はSNSで『死にたい』とつぶやくか」
—インターネット相談の現場から—
講師：特定非営利活動法人OVA代表
伊藤次郎氏 参加39名（愛媛から22名）
- ⑨ インターネット相談の連盟スーパーバイザーとして
横田和子理事が参加（年間を通してスーパーバイ
ザー会議および研修委員会に出席）

7、愛媛県・松山市 諸機関との連携

- (1) 松山市自殺対策関係機関連絡会 4月26日、12月14日
- (2) 松山市自殺対策推進委員会 5月24日、1月24日
・松山市精神科神経科医会研修 8月18日
- (3) 宇和島市立城南中学校 いのちの授業 7月12日
- (4) 松山市自殺予防週間啓発活動協力 9月8日
- (5) 新居浜地区保護司会研修 9月26日
講師 平林茂代評議員
- (6) 宇和島保健所地域自殺対策検討連絡会 10月3日
- (7) 市町による自殺予防研修会 講師：武井理事長
上島町（弓削島）2月6日 四国中央市 2月25日
- (8) 愛媛県教育委員会「いじめ相談ダイヤ24」に協力

8、その他

- (1) FC今治 ホームゲームの会場（夢スタジアム）に
「愛媛いのちの電話」のブースを開設 11月4日、3月24日

平成30（2018）年度 役員

理事長	武井 義定		
副理事長	谷本 治		
理事	大久保雅代	川崎 佳子	
	中矢 吉男	横田 和子	
			以上 6名
監事	足立 純一	近藤 猛	
			以上 2名
評議員	青野 篤子	奥村 武久	
	越智 眞理	谷 直樹	
	西澤 孝一	原 敏彦	
	平林 茂代		
			以上 7名

平成30（2018）年度 決算報告

(2018年4月1日～
2019年3月31日)

勘 定 科 目		2018年度決算	2018年度予算	
事業活動による収支	収入	その他の事業収入	2,075,000	2,075,000
		その他の収入	363,000	363,000
		経常経費寄附金収入	3,757,383	3,450,000
		受取利息配当金収入	1,395	3,000
		その他の収入	57,122	0
		事業活動収入計(1)	6,253,900	5,891,000
	支出	人件費支出	2,965,226	2,965,400
		事業費支出	1,019,360	1,065,000
		事務費支出	2,107,517	2,015,700
		事業活動支出計(2)	6,092,103	6,046,100
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		161,797	▲155,100	
施設整備等による収支	収入			
		施設整備等収入計(4)	0	0
	支出			
		施設整備等支出計(5)	0	0
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		0	0	
その他の活動による収支	収入			
		その他の活動による収入計(7)	0	0
	支出	積立資産支出		
		その他の活動支出計(8)		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
予備費支出(10)		-		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		161,797	▲155,100	

前期末支払資金残高(12)	5,683,630	5,683,630
当期末支払資金残高(11)+(12)	5,845,427	5,528,530

2018年度 貸借対照表 (2019年3月31日現在)

監査報告書

令和元年5月8日

社会福祉法人 愛媛いのちの電話

理事長 武井 義定 殿


 監事 近藤 純
 監事 尾島 敏一

私たちが監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに關する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の遂行に關する不正の行為又は公益若しくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

令和元（2019）年度 事業計画（2019年4月1日～2020年3月31日）

1、法人運営

- 6月上旬までに：理事会（30年度決算、事業報告）
- ～6月：第3回定時評議員会
（30年度決算、理事・監事の選任）
新理事会（理事長・副理事長の互選）
- ～6月：現況報告書、役員名簿、計算書、事業報告書
財産目録、監査報告書の届出
- ～3月：理事会（令和2年度事業計画、予算）

2、相談事業

- 電話相談 相談時間10時間（毎日12時～22時）
月初め10日間は（12時～翌朝6時）
新居浜分室（随時…毎月2回）
宇和島分室（毎月1回程度）の受信
- インターネット相談 毎月4日の受信

3、電話相談員の養成と研修

- 電話相談員養成講座
 - 第38期 前年度よりの継続 7月まで養成講座後半
その後実習研修（7名）
 - 第39期 電話相談員養成講座 10月宇和島市で開講
- 現相談員のグループ別継続研修（月1回）
 - 継続グループ数8
（1年目の養成研修グループを含む）
 - 訓練委員 7名 青野篤子、大久保雅代、梶原万裕
川本こずえ、武井義定、平林茂代
横田和子
 - サポーター養成研修

4、一般社団法人「日本のいのちの電話連盟」・他センターとの連携

- 厚生労働省補助事業フリーダイヤル
自殺予防のいのちの電話に参加
 - 毎月10日午前8時～翌朝8時（24時間）
 - 公開講座 講師：白川密成氏
日時：2019年9月28日 14：00～16：00
演題：「おぼうさんと考えるこの世のこと」
場所：松山市総合福祉センター 大会議室
- インターネット相談
 - インターネット相談運営委員会に参加
- 会議と大会
 - 5/24 社員総会（東京）
 - 5/25 事務局長会議（東京）
 - 6/28～29 第7回中四国事務局会議（高松）
 - 9/8 自殺予防シンポジウム（愛知C担当）
 - 10/24～26 相談員全国研修会おかやま大会

5、運営組織の見直しと拡充

- 運営会議の開催（月1回）：

各委員会の連絡、諸行事の企画・実施

- 各委員会活動（月1回）：
相談、財務、広報、事業、統計、研修企画
- 外報誌「愛媛いのちの電話」（年2回）と内部報「なかま」（毎月）の発行及び発送
- ホームページの更新、その他の広報活動
- 後援会との連携

6、愛媛県諸機関および松山市との連携

- 愛媛県自殺予防対策協議会
- 愛媛県被害者支援連絡協議会
- 松山市自殺対策関係機関連絡会
- 松山市自殺対策推進委員会への参加
- 愛媛県地域自殺対策強化事業
- 愛媛県三浦保「愛基金」への申請
- 愛媛県教育委員会「いじめ相談ダイヤル24」への協力

7、その他

2019年度 予算

勘定科目		金額
事業活動による収支	収入	
	補助金事業収入	2,530,000
	その他の事業収入	780,000
	会費収益	400,000
	経常経費寄附金収入	3,500,000
	受取利息配当金収入	3,000
	雑収入	0
	事業活動収入計(1)	7,213,000
支出	人件費支出	2,980,000
	事業費支出	1,740,000
	事務費支出	1,993,000
	事業活動支出計(2)	6,713,000
施設整備等による収支	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	500,000
	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	支出	
その他の活動による収支	固定資産取得支出	0
	施設整備等支出計(5)	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
	収入	
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	0
	その他の活動による収入計(7)	0
	支出	
	その他の活動支出計(8)	0
その他の活動による収支	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0
	予備費支出(10)	500,000
	当期資金収支差額 合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0
	【資金残高】	
【資金残高】	前期末支払資金残高(12)	5,683,630
	当期末支払資金残高(11)+(12)	5,683,630



あたたかいご支援 ありがとうございます



2018年11月1日～2019年4月30日までに、次の方々から社会福祉法人愛媛いのちの電話への寄付または愛媛いのちの電話後援会への会費としてご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。(五十音順・敬称略)

個人	足立 純一	阿部 待子	石川 和史	石丸 裕司	一ノ宮孝司	井上喜美子	井上美奈子
奥村 武久	井野 恵子	今井久美子	印南 敏彦	上岡 桂子	大久保雅代	大野美代子	岡野 鏡子
菊池 伸英	越智 京子	越智 通晴	梶原 万裕	加藤 泰三	門家 宜子	川崎 佳子	川本こずえ
河野 浩	木村すみれ	木元 裕子	国久 清司	久保田孝子	栗田 啓	黒川 洋介	桑田佳代子
清家 資作	小林 保一	五領田眞理子	近藤 猛	清水 正子	城賀本早智子	鈴木 公生	須之内淳二
竹本 仁弘	関家 徳美	高田 洋子	高野 順子	武井 義定	竹尾 重紀	武田 行雄	武田 良平
徳本 至孝	立川 百恵	田中都智美	田中 美枝	谷 直樹	田村由美子	垂水 真人	鶴井 善子
西川ゆかり	戸田 佳乃	富永 和子	永井 和美	中島眞智子	中矢 佳男	名智 咲子	西岡美矢子
兵頭 早苗	西田 明子	西本 瞳	二宮 孝夫	野村 和男	野村 実	林 浩美	東 麗子
星加 修	平林 茂代	福岡 幸子	福原 千佳	藤岡 宏	藤木 信一	藤田純一郎	藤本 理恵
真鍋 桂子	細田 能希	松浦 恵一	松浦 秀二	松崎 純子	松村 茂	松本 郁枝	真鍋喜代美
村上 廣子	三神 幸子	三神 弘子	三木 優子	三木 茂円	宮崎 節子	宮本 幸	三好 典彦
遊口 親之	村上 弘子	村瀬 宏之	森岡 仁子	森山 弘子	安田富久子	矢野 和枝	山形 久子
渡部茂由子	弓達ますみ	横山 真一	吉川 智子	好永 定	芳野 恭子	吉野内久仁子	渡部 一彦
	渡邊 泰子	渡部 裕子	匿名 19名				

団体	株式会社門屋組	日本基督教団三島真光教会
愛媛林産商事株式会社	日本キリスト教団丹原教会	医療法人宮本歯科
大一ガス株式会社	伊予興業株式会社	公益財団法人松山済美会
MS & ADゆにぞんスマイルクラブ	株式会社カネシロ	松山東雲女子大学・短期大学キリスト教センター
常盤タクシー株式会社	日本キリスト教団砥部教会	医療法人隣善会西条道前病院
東汽船株式会社	医療法人かざはやクリニック	財団法人正光会御荘病院
株式会社伊予銀行	株式会社松栄印刷所	山中造船株式会社
尚正産業株式会社	日本キリスト教団松山教会	N T T 労組退職者の会
安藤工業株式会社	医療法人勤有会さくら病院	四国建設機械販売株式会社
株式会社エム・ワイ・ティ	株式会社日東物産	有限会社 大和屋本店旅館
新居浜商工会議所女性会	日本基督教団松山古町教会	愛媛建物株式会社
一般財団法人豊岡台病院	医療法人ふくもと心療内科	シンワ株式会社
	桑原運輸株式会社	ロッキー産業株式会社

商品提供 イオンリテール(株) マックスバリュ西日本(株)

編集後記

この春新しく認定されました相談員の皆さんの声を寄せていただきました。同じ目的を持つ仲間として活動を始められたことをとても心強く感じています。1985年に開設され現在に至るまで1日として電話のベルが止むことはありません。いのちの電話の活動の趣旨に賛同して頂き、1人でも多くの方が相談員養成講座に参加され地域ボランティアの輪を広げていただけたらと思います。

(S.T)

発行 社会福祉法人 愛媛いのちの電話

発行者 武井義定

編集 広報委員会

事務局 〒790-8691
日本郵便株式会社
松山中央郵便局私書箱 158 号
TEL (089) 958-2000
FAX (089) 958-2014
<http://www.e-inochi.jp/>